

分野：⑬SDGs

(世界の仲間とつながろう)

環境アドバイザー

神山 裕則

対象 川口市立中居小学校6年（118人）

所要時間



3時間

場所 教室

実施時期

令和3年2月10日

概要

SDGsについて
ボルネオと日本との関係（森林伐採・パームヤシ油など）

プログラムの
ねらい

SDGsの狙い
世界の地域と、日本人は、つながってることを知る。
そして、できる活動を考えて、行動する。

プログラムの内容

1. 導入

SDGsのことについて、大まかに知る。
ラオスの子どもの話（貧困・飢餓・教育など）

2. ボルネオと日本の関係

森林伐採・焼き畑農業・異常気象・パームヤシ畑
私たちとの関係 木を輸入（オリンピック関連・
コンビニの商品の半分以上に、パームヤシ油が
入っていること。植物油としか書かれていない。）
私が、していること
ラオスに、文具を届ける活動
ボルネオの土地を買って、植林活動の手助け

3. まとめ

自分ができること。→ 親に話す。友達と話す。エコな生活を送る。

受講者の反応

知らないことがいっぱい、驚いたようだ。食べ物に、パームヤシ油が入っていること。そのことで、動物たちが絶滅の危機に瀕していること。驚いていた。